

授 業 概 要

分 野	基礎分野	科目名	心理学	担当講師	董 潔
実施年次	1 年次	単位数	1 単位	時間数	30 時間
<p>科目設定のねらい</p> <p>看護の対象である人間を理解するための1つの学問領域として本科目を設置する。本科目では人間の心理・感情・基本的欲求など行動の基礎にある原理を学び、人間を理解する手がかりを得るための知識を習得する。また看護に欠かすことができない自己理解・他者理解のための基礎理論を学ぶ。これらの知識は看護学へと発展していくための基礎となるものである。</p>					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
2	1. 心を理解しようとする「心理学」の持つ意味を理解する	1) 看護における人間理解	(1) 心理学とは ①人間理解と心理学 ②科学としての心理学 ③心理学における心とからだ	講義	
4	2. 感覚・知覚・記憶・動機・認知などよばれる高次の心的活動の意味を理解する	2) 認知からの人間理解	(2) 認知 ①感覚・知覚 ②記憶の心理 ③感情・動機 ④ことばと認知過程の働き		
4	3. 人間が持つ欲求が生み出す心理的力について理解する	3) 欲求と動機	(3) 欲求とは ①生理的・社会的動機づけ ②内発的動機づけ ③マズローの欲求階層説 ④文化的・社会的影響		
4	4. 葛藤とフラストレーションについて理解する	4) 葛藤とフラストレーション	(4) ①葛藤のタイプ ②フラストレーション ③適応機制		
4	5. 心と行動のメカニズムの発達過程を理解する	5) 発達の心理	(5) 発達とは－発達理論と心理学 ①発達理論－エリクソン他 ②ライフサイクル各期の発達心理		
4	6. パーソナリティについて理解する	6) 性格と知能の心理	(6) パーソナリティとは ①知能の理解 ②性格の理解 ③自己意識 ④ロジャーズの自己理論		
4	7. ストレスについて理解する	7) ストレスとコーピング	(7) ストレスとは ①ストレス反応の生理学的なプロセス－セリエのストレス理論 ②ストレスのシステム理論－コーピング・内的統制 ③ストレスとバーンアウト		
2	8. 心の健康をまもるメカニズムを理解する	8) 適応のメカニズム	(8) 適応とは ①心の構造と適応機制－フロイト・ユングの理論 ②心の健康を守るために		
2	試験				
テキスト	長田久雄編集 看護学生のための心理学 第2版 医学書院				
参考文献					
評価方法	筆記試験				

授 業 概 要

分 野	基礎分野	科目名	社会学	担当講師	石山 雄貴
実施年次	1年次	単位数	1単位	時間数	15時間
科目設定のねらい 人間の生活・社会・地域文化・家族を理解し、変化の著しい現代社会の動向に関心を持ち、社会と人間生活の密接な関係を理解する。					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
4	1. 現代社会における家族と家族問題について社会的に説明できる	1) 社会学とは家族とその機能	(1) 社会学の基本的な考え方 (2) 集団、組織、ネットワーク (3) 家族の機能と構造 (4) 社会変動とグローバリゼーション ジェンダーと性別役割分業 ケアの担い手の変化	講義	
2	2. 働き方と働き方と健康・病気との関係について説明できる	1) 労働と健康の関連 ワーク・ライフ・バランスの実現	(1) 働き方と働き方と健康への影響 (2) ワーク・ライフ・バランス		
4	3. 社会格差と健康の関連と、健康に対する地域社会と保健医療制度の役割について説明できる	1) 社会生活における健康と病	(1) 健康・病気の見方 (2) 社会格差と健康格差 (3) 保健医療制度 (4) 地域社会と保健医療		
2	4. 患者と医療関係者のコミュニケーションの課題と適切なあり方について説明できる	1) 患者－医療者関係とコミュニケーション	(1) 社会的相互作用とコミュニケーション (2) 患者－医療者関係とコミュニケーション		
2	5. 個人生活と地域社会との関係を理解する	1) コウノトリを育む但馬の風土と文化	(1) 但馬地域の風土、歴史、文化 (2) 地域社会、人びとの生活・移動 (3) コウノトリにみる自然との共生社会		
1	試験				
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 社会学 医学書院				
参考文献	授業内で適宜紹介				
評価方法	出席状況・受講態度、レポート、筆記試験				

授 業 概 要

分 野	基礎分野	科目名	教育学	担当講師	河合 務
実施年次	1年次	単位数	1単位	時間数	30時間
<p>科目設定のねらい</p> <p>人間は生涯発達し続ける存在であり、学ぶことで、人間として生きて行く能力を獲得する。人としての心のありようを重視し、その健康を求めるときに看護は教育とつながるものとなり、教育の土台を形成することとなる。看護という土台の上に展開される教育は直接的には健康教育や保健教育である。教育の本質、教育目的・方法を理解したうえで、いかなる対象にも看護の教育的アプローチができること、また看護専門職として必要となる生涯学習のための自己教育力についても学ぶ。</p>					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
4	1. 人間の成長と教育の意義を理解する	1) 教育とは  2) 人間の成長と教育の意義	(1) 教育とは (2) 教育の種類 (3) 教育と学習の関係 (1) 教育と物の形成との相違 (2) 人間の学習と成長発達の特徴 (3) 意図的な人間形成作用としての教育 (4) 養生と人間形成	講義	
6	2. 教育の目的と目標を理解する	1) 教育の目的と目標  2) 生涯発達と学び続けること	(1) わが国の現代社会と学校制度 ① 学校の役割 ② 親子問題 (2) 教育目的の考え方 (3) 現行法と教育目的・教育目標 ① 教育基本法 ② 学校教育法 (4) 生涯学習社会への移行と意義		
4	3. 教育方法の基本原則を理解する	1) 教育の考え方とその変遷  2) 教育課程	(1) 教育思想 ルソー、ペスタロッチ、デューイ、コメニウス (2) 教育課程とは 教育課程と学習指導要領		
8	4. 学習指導方法が理解できる	1) 学習理論  2) 学習指導の方法  3) 教育評価	(1) 学習理論 ① 刺激一反応理論 ② 認知理論 (2) 学習指導過程 ① 動機づけ ② 目標設定 ③ 評価 (3) 教育内容と教材 (4) 学習指導の形態 (5) 指導技術 (6) 生活指導の意義・方法 (7) 教育評価		

4	5. 発達段階に応じた教育の特性が理解できる	1) おとなの学びと子どもの学び	(1) アンダロジューとは (2) ペダゴジューとの違い (3) 成人教育学－自己主導型学習の考え方	講義
2	6. 専門職者として自己教育力の必要性が理解できる	1) 自己教育力とその必要性	(1) 自己教育力とは何か (2) 職業人の生涯学習 ① 社会のコードと生涯学習 ② キャリア開発と自己教育力 ③ 社会人学習の機会・制度	
2	試験			
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 教育学 医学書院			
参考文献	系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学① 看護学概論 医学書院 波多野完治著 生涯教育論 波多野完治全集⑩ 小学館			
評価方法	レポート、筆記試験			

授 業 概 要

分 野	基礎分野	科目名	人間関係論	担当講師	三木 裕和
実施年次	1年次	単位数	1単位	時間数	15時間
<p>科目設定のねらい</p> <p>現代社会は能力主義的な生存競争が強まり、共感的人間関係を築くことが困難となっている。医療援助職として人間関係形成の必要があるとき、主体的なコミュニケーションをとるにはどうすればよいのか。本科目では、相互の立場を理解し、深く共感しあえる関係の構築について学ぶ。</p> <p>さらに、臨地実習の体験を振り返ることにより、コミュニケーションの力を高める契機とする。</p>					
時間	単元目標	主 題	内 容	指 導 方 法	
4	1. コミュニケーションのあり方を学ぶ	1) コミュニケーションの実際から学ぶ	(1) 障害のある人、疾病のある人とのコミュニケーションを、その実践場面を写真、資料などを通して講義する。	講義	
4		2) 自分の考えや体験を言語化する	(2) 講義を通して理解したことを言語化、対象化し、自らのコミュニケーション体験を振り返る。	課題	
	2. コミュニケーションの理論を理解する	1) 対人関係の発達を個体発生の観点から学ぶ	(1) 情動、コミュニケーション、対人関係の発達における階層・段階	講義	
		2) 現代社会とコミュニケーションについて考える	(2) 講義内容を通して理解したことを言語化、対象化し、自らのコミュニケーション体験を振り返る。	課題	
6	3. 援助職としての人間関係形成の重要性が分かり、コミュニケーション力を高めることができる	1) 基礎看護学実習Ⅰでの体験	(1) 看護学実習でのコミュニケーション体験を振り返る	グループワーク 課題	
		2) コミュニケーションの力を高めるには	(2) 共感的な人間関係を築く上で必要とされるコミュニケーションのあり方を話し合う		
1	試験				
テキスト	講師作成資料				
参考文献	系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学① 看護学概論 医学書院				
評価方法	筆記試験、 レポート				

授 業 概 要

分 野	基礎分野	科目名	外国語 I 「 英 語 」	担当講師	山崎 遼
実施年次	1 年次	単位数	1 単位	時間数	30 時間
科目設定のねらい 「人間と生活、社会を理解」する科目として本科目を設定した。 英語表現の特徴やコミュニケーションのマナーを学ぶことにより、国際社会における人と人との繋がり の在り方や、互いの文化の違いを受け入れることの大切さを理解し、また英語を学び続けることにより 自己啓発へとつないでいくことができる。					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
8	英語の 4 技能を伸ばすことができる	1) 医療現場で用いる英語の基礎知識	(1) <i>Vital Signs</i> を用いて、病院の診療科、体の部位、病名などを英語でどのように表現するかを学ぶ。 <i>Grammar in Use</i> の Study Guide を用いて英文法の理解度を確認する。	講義	
10		2) 医療現場で用いる英語の実践 1	(2) <i>Vital Signs</i> を用いて、病院でのルーティーン、医療器具の名称、位置・場所の指示方法など、実践的な状況における英語の使用法を身につける。 <i>Grammar in Use</i> の Study Guide で判明した文法の弱点を、同書を用いて重点的に訓練する。		
10		3) 医療現場で用いる英語の実践 2	(3) <i>Vital Signs</i> を用いて、問診や診察の際に用いる単語・表現などを身につける。 <i>Grammar in Use</i> の Study Guide で判明した文法の弱点を、同書を用いて重点的に訓練する。		
2	試験				
テキスト	Morooka, Vivian, and Terri Sugiura. <i>Vital Signs [Revised Edition]: Essential English for Healthcare Professionals</i> . Nanjūn-Do, 2018.				
参考文献	Murphy, Raymond. <i>English Grammar in Use: Self-Study Reference and Practice Book for Intermediate Learners of English</i> . 4th ed., Cambridge UP, 2015.				
評価方法	筆記試験				

授 業 概 要

分 野	基礎分野	科目名	外国語Ⅱ 「英 会 話」	担当講師	福安 勝則
実施年次	1年次	単位数	1単位	時間数	15時間
<p>科目設定のねらい</p> <p>「人間と生活、社会を理解」する科目として本科目を設定した。</p> <p>国際社会に対応できる語学力の基礎を身につけ、日常の医療場面における応対ができることを目指す。</p>					
時間	単元目標	主 題	内 容	指 導 方 法	
14	1. 看護の場で将来必要な英語の4技能を身につける	英会話の実際 1) 日常生活場面  2) 医療・看護の場面	Everyday English を使用し英会話の実力をつける。 (1) 日常生活場面  (2) 病院での応対、患者の観察・説明など	講義	
1	試験				
テキスト	濱田真由美監修 実践看護英語 ―専門用語の習得と英会話能力の養成― Essential English for Nursing 英宝社 福安勝則著 Food for Thought : It 's your Choice				
参考文献	日常生活場面での教材は授業で配布する。				
評価方法	筆記試験及び授業での Speaking などの活動				

授 業 概 要

分 野	基礎分野	科目名	体育	担当講師	西村 正広
実施年次	1年次	単位数	1単位	時間数	30時間
<p>科目設定のねらい</p> <p>看護実践者は心身ともに健康であることが求められる。看護を学ぶものとして知育偏重に陥らず、健全な心身の発達をはかり、体力を維持・増進するための運動・活動を行う。</p>					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
28	1. 運動・活動の実践を通し、体力づくりができる	1) 運動・活動の実践	(1) 体力測定  (2) 運動・活動の実践 ・バレーボール ・バスケットボール ・テニス ・バドミントン ・ソフトバレーボール ・ドッジボール等	実技	
	2. 運動中の外傷時の応急処置ができる		(1) 応急処置 (RICE 処置) の理論  (2) テーピングの原理と実践		
2	試験				
テキスト	講師資料				
参考文献					
評価方法	筆記試験 (レポート)、授業参加態度				